

第百十一回 笠間の菊まつり

第二回 いけばな展覧会

假屋崎省吾 の世界展

假屋崎省吾
サイン会開催!

※オリジナルグッズをご購入の方限定

10月20日・23日～26日
29日～31日・11月1日

※日程は変更になる場合がございます。
予めご了承ください。



平成30年 10月20日 土 ～ 11月1日 木 笠間稲荷神社 嘉辰殿

入 場 料

大人 1000 円、中学生 500 円
(小学生以下無料・菊人形展入場料込み)

開催時間

8:30～16:30 (16:00最終入場)
最終日は16:00まで(15:30分最終入場)

個展のお問合せ

笠間稲荷神社……………TEL 0296-73-0001

観光のお問合せ

笠間市商工観光課……………TEL 0296-77-1101

■主催：笠間稲荷神社

■後援：笠間市、笠間の菊まつり連絡協議会

■協力：笑5株式会社



菊人形展「西郷どん」

(写真は平成29年「おんな城主 直虎」より)

昭和23年から開催され、近年は
大河ドラマをテーマに名場面を
再現。菊人形師たちの技術が光る
華やかな作品をご堪能ください。



假屋崎省吾の世界展

～花蝶諷詠～ 華麗なる美と空間の極み



2018年・今年、還暦という人生の節目を迎え、現在も自身が求める理想の美を追求し、更なる新境地を切り拓き続ける假屋崎省吾。国内はもちろん海外からも高い評価を受け、幅広く活躍しているその活動は、各業界から注目・支持されている。昨年に続き二回目の個展開催となる今回も、日本三大稲荷である笠間稲荷神社境内「嘉辰殿」を華道家 假屋崎省吾と笠間の大菊とのコラボレーションで秀麗・優美に彩ります。華麗なる美の世界をご堪能ください。

假屋崎 省吾 SHOGO KARIYAZAKI

華道家、Kariyazaki Flower Professional Education School主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評される。独特の色彩感覚と繊細かつダイナミックな作風は唯一無二の存在であり、空間の魔術師とも呼ばれる。日本はもとより世界各国で日本伝統文化の「華道」を広める活動にも精励する。クリントン元米大統領来日、今生天皇陛下御在位10年記念式典の花装飾の総合プロデュース、2005年より「世界らん展 日本大賞」にて『假屋崎省吾 蘭の世界』を連続特別展示。高円宮家第二女子、典子女王陛下（現 千家典子様）ご成婚時の婚礼ブーケ及びヘアオーナメントを担当。女子美術大学・特別招聘教授、日仏交流150周年フランス広報大使、オランダチューリップ大使、かさま応援大使などを務め、第11回グッドエイジャー賞、国際ブランドパーソナリティー賞なども受賞。2018年1月徳島県美馬市「第11回 うだつをいけるー美来創生ー」個展にて、シンビジウムの生花を使った「世界で最も多いコサージュ展示（7585個）」の世界ギネス記録にも認定された。着物、ジュエリー、スカーフ、ガラス器などのデザインおよびプロデュースをおこない、アーティスト、デザイナーとしての才能を発揮、いくつものブランドを立ち上げ絶大な人気を集めている。また、ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」を開催し、中でも日本の城郭を花で彩る個展「名城シリーズ」も好評を博している。海外でも個展やデモンストレーションを開催し、国内外で目覚ましい活動を展開している。その他、花を通した心の情操教育が期待される「花育」や少子化問題など地域活性を促すボランティア活動も積極的に取り組んでいる。現在、TBS「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」、MBS「プレバト!!」の大人気企画、いけばな才能査定ランキング、ABC「教えて！NEWSライブ正義のミカタ」などの番組に出演、テレビ・ラジオ・雑誌・新聞など幅広い分野でも活動。華道歴35周年を迎え益々活躍の場を広げている。

假屋崎省吾クリスマスパーティー&還暦祝い2018

2018.12.23 (日) 場所: 假屋崎花サロン (東京: 表参道) 会費: 10,000円 (税込) 1回目 14:00-16:00 2回目 18:00-20:00

毎年恒例、東京・表参道にある假屋崎花サロン空間で開催しているクリスマスパーティー&誕生日会!今回は生誕60年・還暦のお祝いを兼ねた記念のパーティーです。1902年製の大変貴重なスタインウェイで假屋崎氏が演奏するピアノコンサートと還暦祝いのイベントに、ぜひご家族、ご友人などお誘い合せのうえ、ご参加くださいませ。

詳細はお電話にて、お気軽にお問い合わせください。03-6712-6873 ※各回定員100名になり次第、受付終了となります。

日本三大稲荷のひとつとして広く人々に親しまれる 笠間稲荷神社



笠間稲荷神社の創建は、社伝によれば第36代孝徳天皇の御代、白雉2年(651)と伝えられ、1350余年の歴史を誇っています。その後、幾星霜を経て、桜町天皇の御代、寛保3(1743)に至り、時の笠間城主井上正賢が社地社殿を拡張して奉斎の誠を尽くし、延享4年(1747)牧野貞通が城主となり、先例によって祈願所と定めて崇敬し、境内地、祭器具等を寄進されました。鎌倉時代の初代城主時朝以来、歴代城主、藩主の尊崇厚く、現在では関東地方は勿論、全国より年間三百万余りの崇敬者が正五九詣、節分、初午、例大祭、御田植祭、菊まつり等を中心に参詣されております。御本殿は、徳川末期、安政、万延年間(1854～1860)の建築で昭和63年1月13日、国の重要文化財に指定されております。御本殿周囲の彫刻は、当時、名匠の間こえあつた弥勒寺音八、諸貫万五郎、後藤縫之助等の作で、「蘭亭曲水の図」や「三頭八方睨みの竜」「唐獅子」等は実に精巧を極めており、総檜造り銅瓦葺です。



笠間稲荷神社社務所

〒309-1611 茨城県笠間市笠間1番地
電話: 0296-73-0001 (代) FAX: 0296-73-0002
テレホンサービス: 0296-73-0003

笠間稲荷神社 東京別社

【ホームページ】 www.kasama.or.jp

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-11-6

電話: 03-3666-7498 FAX: 03-3666-7438

【Eメール】 info@kasama.or.jp